

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード 4-1-2 5-3-2		事業名 丘珠空港周辺のまちづくり事業
担当	市民まちづくり局総合交通計画部交通計画課 夏堀 211-2275、環境局みどりの推進部みどりの推進課 湯浅 211-2522	
全 体 計 画		
事業内容	<年度別の事業内容>	
	丘珠空港が地域と共存し、その機能が十分に発揮できるよう、航空機騒音などの環境問題への対応、空港周辺の居住環境の整備、将来的な土地利用と交通体系のあり方など、空港と調和したまちづくりの推進に向けた基本的な考え方とプログラムをまとめた「丘珠空港周辺のまちづくり構想」に基づく事業を推進し、地域との共存を図る。 (具体的な事業) 丘珠空港緑地の整備推進(丘珠空港周辺に騒音・排ガス拡散防止等のために緩衝緑地を整備する。全体整備面積は約52.4ha。) (関連事業) 都市と農業が共存する施策の推進(空港周辺農地の多面的な活用を推進するための支援策の展開) 空港周辺地域の道路、河川等基盤整備の推進	
事業内容 量 場 所 規模 件数 等	平成19年度事業内容(決算)	
	平成19年度に丘珠空港緑地の南東地区における造成工事に着手し、平成19年度には、地元からの整備要望が高かったパークゴルフ場18ホールの先行供用を開始した。 平成19年度の事業内容 用地取得: 北西地区 約5.4ha 施設整備: 南東地区 敷地造成工、植栽基盤工、植栽、雨水排水工、園路広場工 等	
	平成20年度事業内容(決算)	
	用地取得: 約2.2ha 施設整備: 敷地造成工、植栽基盤工、植栽、園路広場工等	
平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)
用地取得: 約2.1ha 施設整備: 敷地造成工、植栽基盤工、植栽、雨水排水工、園路広場工、管理設備整備工等		用地取得: 約2.6ha 施設整備: 敷地造成工、植栽基盤工、植栽、給水施設工、汚水排水工、園路広場工、遊戯施設工、便所、照明施設工

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-1-2	5-3-2		事業名	丘珠空港周辺のまちづくり事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
[丘珠空港]緑地整備の推進(告示供用面積)	4.1ha	4.1ha	4.1ha	4.1ha	25.2ha	10ha	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 本事業は、学識経験者、地域住民、市民団体の代表などとの意見交換を踏まえ策定した「丘珠空港周辺のまちづくり構想」に基づくものであり、実施に際しては、地元説明会等の開催や「丘珠空港ニュース」の発行を通じて、市民要望の反映や情報提供などを行っている。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 事業実施に至るまでの間、地元説明会等を通じて、市民が参加しやすい環境づくりを進めてきており、今後も意見交換や情報提供を行っていく予定。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>緑地整備の実施により以下の成果が見込まれる。</p> <p>[空港周辺における住環境の向上] 丘珠空港周辺のまちづくりを推進することにより、空港と周辺地域との調和ある発展が可能となり、地域住民が快適に過ごせるような住環境や街並みが形成される。</p> <p>[身近なみどりの創出] 多くの市民が身近にみどりを感じたり触れたりする機会が高まるとともに、百合が原公園からさとらんど・モエレ沼公園へとつながる大規模な緑のオープンスペースネットワークが形成され、市民及び観光客がみどりを享受する機会の向上にも寄与することとなる。</p>			<p>丘珠空港の関係機関(防衛省、国土交通省、北海道、札幌市)による会議が設けられており、当緑地整備についても、その都度、協議調整を図っていく必要がある。</p>				
今後の事業の予定・方向							
南東地区は平成22年にほぼ完了し、北西・北東地区は平成23年の事業着手に向け着実に推進していく。							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		4-1-2	5-3-2	事業名	丘珠空港周辺のまちづくり事業		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	1,853,000	1,108,000	780,000	940,000	4,681,000	
	財源内訳						
	国・道支出金	556,334	358,223	242,667	328,334	1,485,558	
	市の債	1,114,000	654,000	456,000	539,000	2,763,000	
予算	事業費	1,853,000	1,117,000	986,000	976,700	4,932,700	
	財源内訳						
	国・道支出金	556,334	342,324	317,954	362,063	1,578,675	
	市の債	1,114,000	661,000	374,000	550,000	2,699,000	
実績	事業費	1,805,194	1,112,362	941,533	-	3,859,089	
	財源内訳						
	国・道支出金	547,550	341,014	409,159		1,297,723	
	市の債	1,083,000	659,000	498,000		2,240,000	
	その他の他	0	0	0		0	
	一般財源	182,666	113,676	294,046	64,637	655,025	
事業費の進捗率		(H19実績 + H20実績 + H21実績 + H22予算事業費) / (計画事業費)				103.3%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度]							
[21年度] 平成20年度補正予算が含まれるため、計画との差異が生じた。また、決算については、H21年度予定の用地取得がH22年度に先送りとなったため、予算額との差異が生じた。							
[22年度]							